

インフルエンザ予防接種

インフルエンザに対する予防接種は、最近その有効性が改善されました。ハイリスク・グループの人達(子供、老人、慢性の呼吸器疾患患者、医療従事者等)には、特に接種することが勧められています。65歳以上の方、60歳以上でハイリスク・グループの患者さんは、毎年1回の定期接種を受けることになっています。それ以外の方は任意接種ですが、13歳未満では2回接種が必要です。

毎年10月初旬に、その冬に流行すると予測されるウイルス株のワクチンができあがります。2～4週間あけて2回接種すると確実ですが、1回の接種でも充分効果が期待できると言われています。効果が現れるまでに2週間以上の期間が必要なので、流行する前に受けるようにします。

インフルエンザ以外の風邪に対して予防効果はありません。インフルエンザにかかってしまったら、早めに抗インフルエンザ薬の投与を受けます。予防接種を受けていても3割くらいの方は感染するといわれています。しかしながら、接種した方が脳炎や肺炎などの重い合併症は少ないだろうと考えられています。

Q : 接種後の入浴は？

A : 接種当日は、疲れるほどの長湯をしてはいけません。汗を流す程度の入浴は支障ないと思われれます。

Q : 1回接種と2回接種、どちらが良いのか？

A : インフルエンザ・ワクチンは弱毒ワクチンに分類され、複数回の接種により免疫が得られる種類のワクチンです。しかしながら、過去に実際インフルエンザに感染したことのある方は、その免疫の記憶が残っているので1回接種でも大丈夫だろうと考えられています。従って、既往がないと思われる13歳未満の子供には2回接種が決められています。

Q : いつ接種したら良いのか？

A : 免疫が得られるまでに、およそ2週間かかると言われています。従って、流行りはじめてから接種を受けても間に合いません。体調の良い時季を見計らって、早めに予定をたてて受けることをお勧めします。

Q : 有効期間はどれくらいあるの？

A : 通常4～6ヶ月間といわれています。抗体の出来方に個人差があるため一概にはいえません。時間経つと抗体価が徐々に下がって有効性も弱くなります。ある日を境に、電気のスイッチを切るように、パッと効果がなくなるわけではありません。